

## 会社概要 (2011年2月28日現在)

- ◆商号 株式会社ハブ (英訳名 HUB CO.,LTD.)
- ◆本社 東京都千代田区外神田三丁目14番10号
- ◆設立 1998年5月28日 (創業:1980年3月)
- ◆資本金 6億28百万円
- ◆役員 代表取締役社長 太田 剛  
(2011年5月25日) 取締役 井上泉佐  
取締役 高見幸夫  
取締役 金鹿研一  
取締役 菊地唯夫  
取締役 黒須康宏  
監査役 龍湖康雄  
監査役 浦 一馬  
監査役 喜藤憲一
- ◆事業内容 英国風PUB事業等
- ◆従業員数 175名 (他、臨時雇用者数 409名)
- ◆発行済株式数 12,449株
- ◆株主数 1,211名
- ◆大株主  
ロイヤルホールディングス(株) 33.01%  
テーブルマーク(株) 9.80%  
(株)河内屋 9.64%  
(株)一六堂 6.79%  
金鹿研一 2.14%

## 株主メモ

- ◆事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
- ◆剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年2月末日
- ◆定時株主総会 毎年5月開催
- ◆公告方法 電子公告 (<http://www.pub-hub.co.jp>)  
ただし、電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載する方法とします。
- ◆株主名簿管理人 東京証券代行株式会社  
東京都千代田区大手町二丁目6番2号 (日本ビル4階)
- ◆郵便物送付先 (連絡先) 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
東京証券代行株式会社 事務センター  
☎0120-49-7009  
取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

### ◆住所変更等のお申出先について

お取引口座のある証券会社にお申し出ください。ただし、特別口座に記録された株式に係る各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

### ◆未支払配当金のお支払について

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社にお申し出ください。

## 第13期 決算のご報告

2010.3.1 ~ 2011.2.28



# HUB REPORT

## 東日本大震災に被災された皆様へ

この度の東日本大震災により被災された皆様、ご関係の皆様には心よりお見舞い申し上げます。  
当社は、被災地の皆様の安全と一刻も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。



## HUB's HEART VOL.2

従業員の願いが叶った!

## 2階建てロンドンバスが都内を運行!



創業30周年のメモリアルイヤーを記念して実際に英国で走っていた2階建てロンドンバスをハブVer.にラッピングして都内を走らせました。(2010年4月1日~27日)英国風PUB=HUB・82として広く認知していただくと共に、予約制の貸切パーティを承り、都内を運行しながら飲食を楽しんでいただくことで、大変ご好評を頂きました。実はこの企画、数年前に従業員が実施する

ワイガヤの勉強会から「トップへの提言」として提案された企画なんです。創業30周年の記念すべき年に、その提案が実現し、ハブオリジナル仕様のロンドンバスが都内を走る姿は、従業員にとっても非常に感慨深いものとなりました。





英国PUB文化を  
日本において広く普及させるため  
英国風PUBを通じてお客様に感動をあたえる  
「感動文化創造事業」を展開する。  
私たちハブの経営理念です。



- ◆ **正直な経営** ◆  
「オネスト」を当社の経営の基本姿勢とする  
常に「公平・公正・公開」を心がけ、正々堂々と経営を行う
- ◆ **着実な経営** ◆  
業態の実力を磨きつつ、着実な成長をめざす
- ◆ **常に変革する経営** ◆  
「ワイガヤでアイデアを出し合い、すぐに実行する」  
風通しのよい風土を重視し、全員参加で絶え間なくイノベーションを生み出す
- ◆ **従業員重視の経営** ◆  
経営理念を実現する主役である従業員を大切にす



**Message**  
株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社事業へのご理解とご支援を賜り、誠に有り難うございます。

2011年3月11日に発生した東日本大震災により被災された皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。当社店舗におきましては、地震発生時にご来店中のお客さま並びに従業員への人的被害を免れ、また店舗建物の損壊等もございませんでした。しかしながら、震災後の社会情勢の変化や電力不足等により、今後の事業への影響がある可能性があります。

当社は「英国風PUB」という事業展開を通して、お客さまにポジティブな気持ちになっていただける場、飲食と歓談の中でお互いの心の琴線に触れ合える場、そうした場の提供を目指しています。震災によるダメージからの復興に向けて、日本の社会全体の一体感と活性化が求められる今、当社が果たすべき役割は極めて大きいと感じております。

株主の皆さまには、引き続きのご支援とともに、当社店舗を積極的にご利用いただき、国難の中で当社事業のミッションを遂行していくためのお力添えを賜りたく、心よりお願い申し上げます。

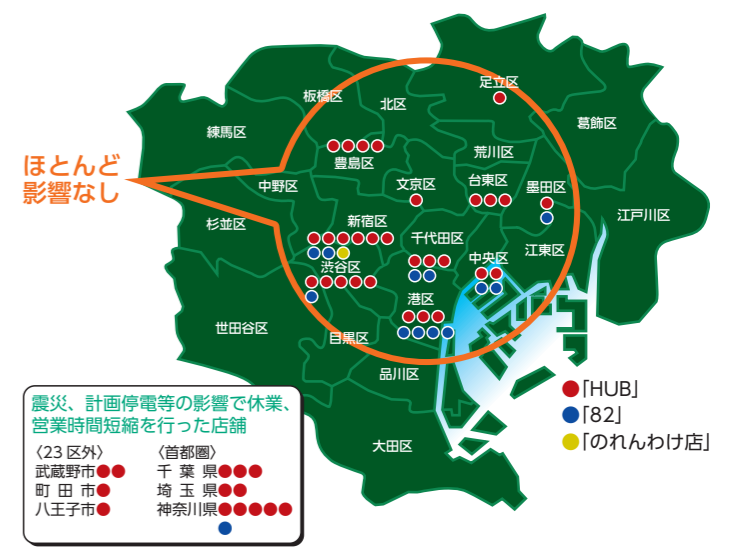
代表取締役社長 太田 剛

**Q** はじめに、震災による事業への影響と今後の状況について、現時点でわかるところをお聞かせ下さい。

**HUBメンバーズカード会員のご利用を中心に、比較的早期に売上を回復。懸念される夏場の電力不足を想定し、対策を準備しています。**

震災発生当日、当社店舗では幸い直接的な人的・物的被害がなく、交通機関の運休により帰宅の足を失った方々への対応として、各店舗の営業時間を極力延長しました。その後、一部店舗において計画停電の実施等による営業時間の短縮を行いました。現在では全店舗通常通りの営業を維持しています。

3月の既存店売上高を見ると、震災発生前の上旬が対前年比102%、そして震災が発生した11日から中旬にかけ同60%まで落ち込み、下旬には同92%に回復しました。月間では同82.9%に着地しています。消費マインドの冷え込みによる来店客の減少やパーティのキャンセルなどを受けながらも、比較的早期に立ち直った主な要因としては、HUBメンバーズカード会員による高い利用率を保っていることが挙げられます。そうした中で、各店舗では復興への願いを込め、売上の一部を義援金として寄付する「チャリティドリンク」の



**Highlight** ハイライト情報

◆ 詳細な財務データはこちらをご覧ください。

売上高	経常利益	当期純利益
<b>6,402</b> 百万円 (前期比13.9%↑)	<b>354</b> 百万円 (前期比28.8%↑)	<b>199</b> 百万円 (前期比29.1%↑)

**12期連続増収！**  
**5期連続増益！**  
**4期連続増配！**

<p>■ 売上高</p>	<p>■ 経常利益 ○ 売上高経常利益率</p>	<p>■ 当期純利益 ○ 売上高当期純利益率</p>	<p>■ 株主資本 ○ ROE</p>	<p>■ 配当金</p> <table border="1"> <tr><td>07/2</td><td>2,000円</td></tr> <tr><td>08/2</td><td>2,500円</td></tr> <tr><td>09/2</td><td>3,400円 (2,900円+記念配当500円)</td></tr> <tr><td>10/2</td><td>3,400円</td></tr> <tr><td>11/2</td><td>(計画) 4,100円 ↓ <b>4,700円</b> (4,200円+記念配当500円)</td></tr> </table>	07/2	2,000円	08/2	2,500円	09/2	3,400円 (2,900円+記念配当500円)	10/2	3,400円	11/2	(計画) 4,100円 ↓ <b>4,700円</b> (4,200円+記念配当500円)
07/2	2,000円													
08/2	2,500円													
09/2	3,400円 (2,900円+記念配当500円)													
10/2	3,400円													
11/2	(計画) 4,100円 ↓ <b>4,700円</b> (4,200円+記念配当500円)													

販売など、営業を通じた被災地支援活動に取り組みました。  
今後の影響については、先の見通しが立たず、予測が難しいところですが、当社が特に懸念するのは、夏場の電力不足です。フードサービスにおいて最も大きな責任が伴う「安全・安心な食の提供」を維持するにあたり、当社では現在、食の安全・安心をどう確保していくかについてさまざまな状況を想定し、対策を準備しております。

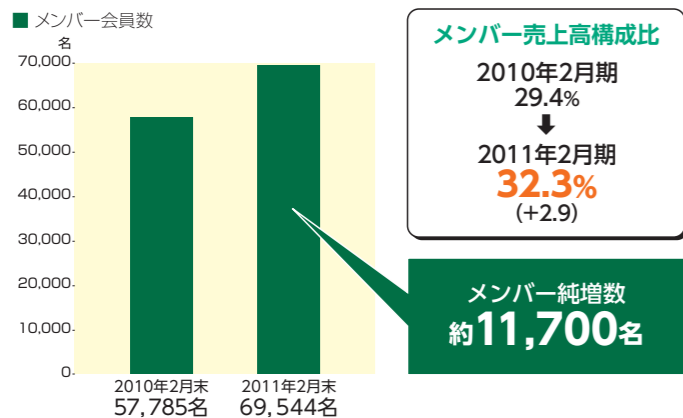
**Q 当期(2011年2月期)を振り返り、営業の状況と業績についてお聞かせ下さい。**

**低価格化への追従を避け、独自の価格設定を維持しつつブランド訴求と会員客の強化に努め、大幅な増収増益を果たしました。**

外部環境から申しますと、当期の居酒屋業界は、低価格業態の相次ぐ出店による価格競争の激化に見舞われました。それに対して当社では、従来からの「価値ある週刊誌価格(380円)」を維持し、むやみな低価格化への追従を避けるとともに、フードサービスの基本であるQ(品質)S(サービス)C(清潔)A(雰囲気)の徹底追求に向けて、社内の意思統一を図っていきました。

また、創業30周年記念事業として、当社ロゴをあしらったロンドンバスを都内に運行させ、ブランド認知度の向上と新規来店客の開拓に努めました。一方、当期末現在で約70,000人に達し、売上約30%を占めるメンバーズカード会員に対しては、特典を充実させるなど関係強化を図りました。

こうした取り組みに加え、昨年6月のサッカーイベントによる集客効果も寄与し、当期の既存店における対前年比実績は、売上高で103.0%、客数で102.2%と堅調に推移しました。新規出店については、「HUB」業態・「82」業態合わせて7店舗をオープンし(内1店舗は



のれんわけ)、当期末現在の総店舗数は67店舗となっています。  
以上の結果、当期は売上高6,402百万円(前期比13.9%増)、営業利益347百万円(同28.0%増)、経常利益354百万円(同28.8%増)、当期純利益199百万円(同29.1%増)と大幅な増収増益を遂げました。

**Q ロイヤルホールディングスとの関係強化により、どのような変化が生じていますか？**

**野菜の仕入やセントラルキッチンを活用など、食材面のシナジーによるメリットを享受。さらに広範囲な関係構築を進めます。**

当社は、2010年2月に外食チェーンを展開するロイヤルホールディングス株式会社との間で、業務提携を結びました。これは、事業パートナーとして事業全般におけるシナジー効果を創出し、両社の企業価値向上を図ることを目的とするものです。当期は、主に2つの点において、そのメリットが具体的に現れはじめました。

1つ目に、野菜の仕入におけるシナジーです。当社はローコストオペレーション推進の一環として、野菜の仕入先をロイヤルグループの共同購買先に変更しました。これにより、従来以上に高い品質の野菜を、より低価格で調達することが可能となりました。2つ目に、ロイヤルグループが有するセントラルキッチンの活用です。当社メニューの中では、特にパスタソースをはじめとするソース類やパン類の製造において、効率化・ローコスト化と品質向上がもたらされています。こうした食材面のシナジーについては、引き続き対象の幅を拡げ、さらなるメリットを享受していく考えです。

そして今後は、新規出店における店舗物件情報の共有化や、衛生管理面のノウハウの導入なども視野に入れた、両社のより広範囲な関係構築を進めてまいります。

**Q 今後の成長計画については、どのように考えていますか？**

**震災の影響により、中期経営計画の見直しは不可避ながら長期ビジョンを維持。この難局を「強い店長」の育成機会とします。**

当社は、2018年2月期における店舗数130店、売上高100億円、経常利益8億円(経常利益率8%)を数値目標とする長期ビジョンを掲げています。そして、これを具現化するためのファーストステップとして、当期から2013年2月期までの3カ年を計画期間とする中期経営計画に取り組んでいるところです。同計画では、店舗数81店舗、売上高71億円、経常利益3億74百万円(経常利益率5.3%)の達成を最終年度目標としています。

新・年度推進スローガン

アゲインストな環境に立ち向かえる強い人財の育成

「自主・自立・自己責任」で「自己完結」できる店長の育成



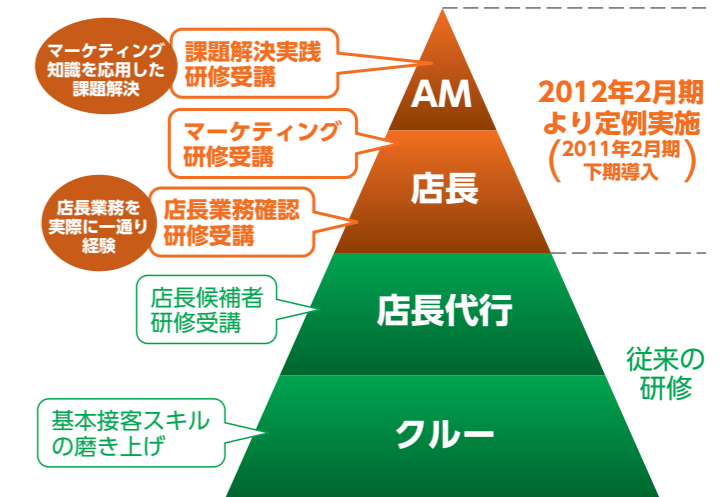
中期経営計画については、当期まで順調に進捗してきたものの、来期(2012年2月期)は震災の影響が不可避であり、首都圏における出店ペースについても減速せざるを得ず、計画の見直しを余儀なくされるものと思います。しかし、2018年2月期の長期ビジョンは変更せずに維持し、そのスパンの中で震災の影響による遅れを取り戻していきたいと考えています。

来期の見直しについては、現時点での予想が困難であり、業績予想についても未定としておりますが、売上高の減少に対する内部施策として、徹底的なコストカットに取り組んでまいります。ただし、その中でも人材育成・教育に関しては優先的に実施し、この難局を「強い店長」の育成機会として活かしていきます。

Future 長期ビジョン(2018年2月期のハブの姿)

1. 日本全国に英国PUB文化を広めている
  2. ビジネスモデルが確立され、基盤づくりが完了している
  3. 数値目標
- 店舗数 **130** 店舗 売上高 **100** 億円 経常利益 **8** 億円

階層別の従業員教育の強化



**Q 株主の皆さまへメッセージをお願いします。**

**「場の提供」という当社の役割が人々に必要とされていることを認識し、今やれることを着実に積み上げてまいります。**

当社は、株主の皆さまに対する利益還元について、「経常利益の15%前後かつ配当性向50%以下」を基準とする業績連動型の配当実施を基本方針としています。当期の期末配当はこの方針に基づいて増額し、1株当たり4,700円(うち創業30周年記念配当500円)とさせていただきます。今後とも事業の成長・発展に向けて邁進し、業績向上による利益還元の充実にも努めてまいります。

今回のような大規模震災発生状況下においても、当社店舗にご来店され、楽しんでいただいているお客さまの姿に、「場の提供」という当社の役割が人々に必要とされていることを、あらためて強く感じております。復興には一定の時間を要するものの、その回復を経てさらなる成長を実現できることを信じ、今やれることを着実に積み上げてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 30年の軌跡

当社は、1980年兵庫県神戸市三宮に第1号店を出店し、おかげさまで創業30周年を迎える事ができました。ここでは、創業から現在までの軌跡を皆さまにご紹介します。



兵庫県神戸市三宮に第1号店をオープン

当時のメニュー  
生ビールは1杯180円〜で販売

## 1980



東京都港区六本木に出店  
六本木のシンボル「俳優座」に出店し東京に初進出となる

HUBの初出店は世間に大きな反響を与え、競ってマスコミに取り上げられる

1997●「HUB池袋東口店」オープン  
現在のHUB店舗の原型となりプロトタイプ店舗として確立



## 1990

### 当社の強み

当社は「英国風PUBに特化」「ステディな出店計画」「ブレない経営方針」を基盤に、これからも成長を続けてまいります。

- 30年間 英国風PUBに特化**
  - 業態転換なし！
  - トレンドに左右されないビジネス
  - 英国風PUBのみを磨き続ける
- ステディな出店計画**
  - 数だけを追わない出店
  - 人材教育を徹底
  - 約10年スパンの店舗ライフサイクル
- ブレない経営方針**
  - 過去10年以上退店無し
  - コツコツと愚直に積み上げる経営

### 厳しい環境を生き抜く経営

2002●日韓ワールドカップ開催  
HUB=サッカーのイメージが定着



## 2000

1999●HUBメンバーズカードを導入  
固定客のステータスとして現在も継続している



開始当時のカード

1998●(現)株式会社ハブ 設立  
金鹿相談役(当時社長)が10年後の株式公開を宣言



2006●大阪証券取引所「ヘラクレス」に念願叶って株式上場を果たす



2005●もう一つの英国風PUB「82」の第1号店を神田に出店



2005●当社オリジナルエール「HUBエール」開発  
HUBでしか飲めないオンリーワンの商品として現在でも大好評を博している

## 2010 and more...

2010●創業30周年を迎え  
創業30周年記念事業を展開



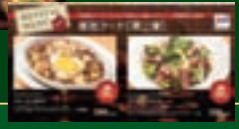
創業30周年式典の実施



ハブオリジナル仕様  
ロンドンバスの運行



復刻メニューの販売



### 東日本大震災 支援の取り組み



被災地救援チャリティドリンクを販売

東日本大震災によって甚大な被害を受けた、被災地ならびに被災者の方々への復興支援を目的として、当社は店内での募金活動及びチャリティドリンクの販売を実施しました。4月末日時点で、当社従業員ならびにお客様より募金していただいた額が2,186,037円となりました。また、チャリティドリンクの販売については、販売1杯につき50円を義援金として当社が負担し、結果として4月末日時点で、総販売数127,536杯、義援金が6,376,800円となりました。募金金額及びチャリティドリンクの義援金の総額8,562,837円を、社団法人日本フードサービス協会を通じて被災地ならびに被災者の方々へ寄付させていただきました。



募金活動を実施